

平成28年7月 1日

都内各中学校長 様
東京都中学校理科教育研究会 会員 様

東京都中学校教育研究会
会長 笹川 敏
東京都中学校理科教育研究会
会長 山谷 安雄
研究部長 大熊 一正
(八王子市立宮上中学校長)

第62回 東京都中学校生徒理科研究発表会の開催について

日ごろより、東京都中学校理科教育研究会の活動にご協力をいただき、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

毎年実施いたしております中学校生徒理科研究発表会、本年度で62回を迎え、下記のように開催することになりました。つきましては、発表生徒の推薦並びに関係者の参加につき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 趣 旨 生徒による理科研究を奨励するため、都内各地区の代表生徒による発表を開催する。
- 2 日 時 東部地区：平成29年1月21日（土）9時45分から16時まで
西部地区：平成29年1月22日（日）9時30分から16時まで
*地区割りは次のとおりです。（ただし、発表校の都合で入れ替えもあります。）
（東部地区） 千代田、中央、港、文京、台東、墨田、江東、豊島、北荒川、板橋、足立、葛飾、江戸川、島しょ、他
（西部地区） 新宿、杉並、品川、目黒、大田、世田谷、渋谷、中野、練馬多摩地区各市町村、他
- 3 会 場 日本化学会 化学会館 ホール（発表） 会議室（ポスターセッション）
千代田区神田駿河台1-5 JR・地下鉄線 御茶ノ水駅下車3～5分
- 4 内 容 (1) 各地区代表生徒による研究発表（午前、午後、発表時間は各15分程度）
(2) ポスターセッション（昼食後の時間帯）
(3) 質 疑
(4) 講評・表彰
- 5 表彰について
(1) 表彰の内容
 - 東京都中学校理科教育研究会、日本化学会、読売新聞社から賞状を各代表に、記念メダルを発表者全員に授与します。
 - 特に優秀な発表を行った発表代表者に「優秀賞」として賞状と記念の盾を授与します。
「優秀賞」は東部地区、西部地区のそれぞれ3団体に授与します。

(2) 審査基準

「優秀賞」は当日の発表内容をもとに、次の基準により審査し、決定します。

- ① 発表内容が筋道立てて整理されている。
- ② 発表内容に中学生らしい創造力や発想が生かされている。
- ③ 発表方法が工夫されていて分かりやすい。
- ④ 研究に携わった中学生の熱意と努力が優れている。

6 応募について

申込書を都中理の下記の各地区担当者に10月30日(金)までに送付してください。ただし、各地区等の年間予定で代表校がこれより後に決定する等の事情がある場合には、事前に担当者までお知らせ下さい。

東部地区担当者	文京区立文林中学校 主任教諭 川島 紀子
	電話 03-3827-7671 FAX 03-5685-4960
西部地区担当者	世田谷区立尾山台中学校 主任教諭 内藤 理恵
	電話 03-3701-1171 FAX 03-3701-1195
研究部長	八王子市立宮上中学校 校長 大熊 一正
	電話 042-676-5571 FAX 042-677-0205
	Email d365600@city.hachioji.tokyo.jp

応募に関する留意点

- ① 応募票は都中理のホームページからダウンロードできます。

URL <http://tcr.internet.ne.jp>

トップページから、生徒研究発表会のアイコンをクリックすると入ります。

- ② 発表希望校の担当教員は、応募票に記入し、上記の東部地区ないし西部地区の担当者あてに送付して下さい。あわせて、各地区の代表理事に連絡して下さい。

* 送付後、必ず上記地区の担当者（東部：川島、西部：内藤）あて、電話で送付したことを連絡して下さい。FAXの場合、番号違いで届いていないことがあります。

* 例年、締め切り後に応募のご連絡をいただき、お断りせざるを得ないケースがあります。発表することが決まっているが、発表者等が未定だという場合、発表枠を確保するというので、仮の応募票をお送り下さい。詳細が決定後に差し替えます。

- ③ 同一地区からの発表数は1件を原則とします。また、発表は1テーマとします。

④ 発表生徒の選考会を行う地区

選考後、発表校担当教員が応募票を送付して下さい。選考会担当者が送付する場合は、必ず発表校担当者と連絡をとって下さい。

選考が応募締切日に間に合わないときは、代表理事あるいは選考会担当者が、研究部地区担当者に、発表することを連絡してください。選考後、すみやかに応募票を提出してください。（都中理研究部で、発表枠を確保します）

⑤選考会を行っていない地区

代表理事は、地区内での応募数を把握し、複数の応募があった場合は調整を行ってください。（そのため、発表校のご担当の先生は代表理事に必ず連絡してください）。

⑥発表数は1日あたり11件を上限とし、2日間で計22件とします。応募数がこれに満たない場合は、同一地区からの複数の発表を認めます。したがって、選考を行っている地区では、発表の1位、2位を決めておくようにしてください。また、複数希望が出ている地区も同様に順位を決め、複数希望があることを研究部へご連絡下さい。

複数発表を認める地区については、研究部で検討し、該当地区代表理事に連絡します。

(2)発表日に関する留意点

①東部地区、西部地区の2地区に分け、発表はそれぞれの指定された日を原則とします。

②1日目（21日）が、東部地区の発表日です。

③2日目（22日）が、西部地区の発表日です。

④指定日の発表が困難である場合は、可能な日における発表数が上限に満たない場合に変更を認めます。あるいは、各発表日で入れ替えが可能な学校があり、調整可能である場合に認めます。

7 発表について

(1)発表は、口頭発表とポスターセッションによる発表の2つで行います。

(2)口頭発表

①ホールにおいて、プログラム順に1発表あたり15分で行います。

②舞台上で発表する生徒は**5人まで**とします。

③発表生徒（5人以内）は、指定された席に座って下さい。

④共同研究をしている生徒で発表をしない生徒は、一般の来場者席に座って下さい。

表彰における記念メダルは、共同研究者全員にお渡しします。

⑤発表では、プレゼンテーションソフトを用いて行うことができます。作品や実験を提示することも可能ですが、ホールの規約や安全性の点からできないことがあります。

*発表会は、生徒の司会で進行します。事前打ち合わせで、担当校を決めさせていただきますので、ご了解下さい。

(2)ポスターセッション

①昼食後に40分程度、発表生徒がポスターの前で研究内容を審査員、来場者に説明します。

②ポスターのサイズはA0までで、パネルに貼って掲示します。

③実験の実演等も可能ですが、ホールの規約や安全性の点からできないことがあります。

8 その他

(1)詳しい内容は、発表校代表の先生宛にご連絡します。

(2)11月14日（月）15：30～16：45 日本化学会の会場で、打ち合わせを行います。司会の担当校も決めますので、必ずご出席下さい。